


基本方針4 子どもたちの豊かでたくましい人間性をはぐくみます

資料2

【基本的方向】

- ① 小・中・高一貫したキャリア教育を推進するとともに、地域と連携した体験活動や読書活動を充実し、粘り強くチャレンジする力をはぐくむ教育を充実します。
- ② 歴史や芸術・文化・学術等に関する教育を推進し、郷土への誇りや伝統・文化を尊重する心をはぐくみます。
- ③ 民主主義をはじめとした社会のしくみについての教育を推進し、社会の一員として参画し貢献する意識や公共の精神を醸成します。
- ④ 社会のルールを守り、違いを認め合い人を思いやる豊かな人間性をはぐくむ人権教育・道徳教育を推進します。
- ⑤ 子ども自身の問題解決能力をはぐくむとともに、関係機関との連携や支援チームの活用等により、いじめや不登校等の生徒指導上の課題解決に向けた対応を強化します。
- ⑥ 教員研修の実施など校内の指導体制を強化し、体罰等の防止に取り組みます。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	キャリア教育の推進 (児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育プログラムの推進 <参考資料2 P1>)	小・中学校において、研修を通じて「大阪府キャリア教育プログラム」の周知・普及に努め、中学校区におけるキャリア教育全体指導計画の作成を促進した。
	キャリア教育の推進 (「志（こころざし）学」の実施 <参考資料2 P2>)	府立高校においては、「志（こころざし）学」を実施するとともに、大阪府教育センター研究フォーラムにおいて、実践発表やパネルディスカッションを通じてその取組みの普及を図った。
	子どもの発達段階に応じた読書環境の充実 (大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラム  <参考資料2 P5>) (公立図書館と学校との合同研修 <参考資料2 P5>)	「大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラム」を開催し読書の重要性についての理解を促進するとともに、「公立図書館と学校との合同研修」を開催し、学校図書館の活性化や公立図書館における児童サービスの向上を促すことにより、子どもの発達段階に応じた読書環境の充実を図った。

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
②	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; background-color: red; color: white; font-weight: bold;">第1回審議会で審議済</div> </div>	
③		
④	道徳教育の推進（＜参考資料2 P9＞）	<p>小・中学校については、「特別の教科 道徳」の円滑な実施に向けて、府内14校を推進校に指定し、指導方法や評価方法の研究を行うとともに、その成果を広く発信するために、大阪府道徳教育フォーラムを開催した。加えて、道徳教育推進教師対象の研修会を実施した。</p> <p>府立高校については、各校が作成する道徳教育の全体計画に基づき、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進することを周知した。</p>
	人権教育の推進（＜参考資料2 P11～P12＞）	<p>小・中学校については、人権教育教材集・資料を活用した研修を実施するとともに、人権教育フォーラムを実施した。</p> <p>府立高校については、共同研究校24校、共同研究員・研究協力員184人の体制により、研究交流会議やテーマ別研修会等を開催した。</p>

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
⑤	<p>いじめ解決に向けた総合的な取組みの推進 (いじめ対策支援事業 <参考資料2 P16>) (児童生徒支援総合対策事業 <参考資料2 P16>) 中学校における生徒指導体制の強化 (生徒指導機能充実緊急支援事業 <参考資料2 P19>) 小学校におけるチーム支援体制の充実 (小学校指導体制支援推進事業 <参考資料2 P19>)</p>	<p>いじめをはじめとする問題行動への対応として、市町村教育委員会に対し、府教育委員会作成の「5つのレベルに応じた問題行動への対応チャート」の積極的な活用を働きかけるとともに、162 中学校を対象として、生徒指導機能充実緊急支援事業を実施し生徒指導機能の強化を行った。併せて、生徒指導上の課題の大きい50 小学校を対象に、生徒指導アドバイザー（校長OB）やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を状況に応じて配置し、生徒指導上の課題に対するチーム支援体制の充実を図った。</p> <p>また、子どもの命にかかわる緊急かつ重篤な事案や、学校や市町村教育委員会だけでは解決が困難な事例に対し、支援チームを派遣した。</p> <p>11月に、いじめ防止フォーラムを開催し、いじめ解決に向けた実践報告や講</p>
		第1回審議会で審議済
⑥	<p>児童・生徒等に対する学校相談体制の充実 (スクールカウンセラー配置事業 <参考資料2 P17>) 福祉や警察など関係機関の連携による取組みの推進 (スクールソーシャルワーカー配置事業 <参考資料2 P17>)</p>	<p>府立学校にスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒の悩みや不安を受け止める確かな支援が行えるよう、「スクールカウンセラーと教員がともに取り組む問題行動解決力育成のためのブックレット」を活用するなど、教育相談体制の充実を図った。</p> <p>市町村教育委員会（政令・中核市を除く）へスクールソーシャルワーカーを派遣し、児童生徒の環境改善に向けた福祉機関との連携の充実を推進した。</p>
	<p>体罰等に関する相談体制の整備 (生徒アンケートの実施 <参考資料2 P21>) (被害者救済システム運用事業 <参考資料2 P21>)</p>	<p>府立学校においてアンケートを2回実施し、体罰の早期発見に努めた。また、「被害者救済システム」を引き続き設置し、活用した。</p>

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H28年度実績値	点検結果	
○指標 24 「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合	向上させる	小6：86.3%（全国：87.7%） 中3：71.1%（全国：73.5%）	小6：83.7%（全国：85.9%） 中3：68.3%（全国：70.5%） 〔H27年度実績〕 小6：83.1%（全国：85.3%） 中3：69.4%（全国：71.1%）	△	いずれも計画策定時の実績を下回った。
○指標 25 「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合	向上させる	小6：93.6%（全国：94.3%） 中3：92.0%（全国：93.7%）	小6：94.3%（全国：94.8%） 中3：93.5%（全国：94.7%） 〔H27年度実績〕 小6：93.9%（全国：94.4%） 中3：93.5%（全国：94.3%）	○	いずれも計画策定時の実績を上回った。
○指標 26 「読書が好き」な児童・生徒の割合	向上させる (全国水準をめざす)	小6：45.8%（全国：47.8%） 中3：38.0%（全国：46.2%）	小6：47.1%（全国：49.0%） 中3：39.3%（全国：46.1%） 〔H27年度実績〕 小6：46.8%（全国：49.3%） 中3：39.2%（全国：46.5%）	△	いずれも計画策定時の実績を上回っているが、全国平均を下回った。
○指標 27 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合	向上させる (全国水準をめざす)	小6：73.0%（全国：75.7%） 中3：60.2%（全国：66.4%）	小6：74.9%（全国：77.9%） 中3：65.6%（全国：70.7%） 〔H27年度実績〕 小6：72.9%（全国：76.3%） 中3：64.9%（全国：69.3%）	○	いずれも計画策定時の実績を上回った。

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H28年度実績値	点検結果	
○指標 28 「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答した児童・生徒の割合	向上させる	小6 : 91.7% (全国 : 93.0%) 中3 : 92.5% (全国 : 94.2%)	— ※平成 28 年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙から当該質問事項が削除	—	—
○指標 29 「学校のきまりを守っている」児童・生徒の割合	向上させる	小6 : 85.3% (全国 : 90.6%) 中3 : 89.1% (全国 : 92.5%)	小6 : 89.1% (全国 : 92.6%) 中3 : 93.2% (全国 : 95.2%) 〔H27 年度実績 小6 : 86.6% (全国 : 91.5%) 中3 : 92.8% (全国 : 94.7%)〕	○	いずれも計画策定時の実績を上回った。
○指標 30 「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」児童・生徒の割合	90%以上をめざす	小6 : 87.5% (全国 : 91.8%) 中3 : 84.4% (全国 : 87.1%)	— ※平成 26 年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙から当該質問事項が削除	—	—
○指標 31 「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」と回答した府立学校生の割合	向上させる	57.0%	59.1% [H27 年度実績 60.5%]	○	平成 28 年度実績は、計画策定時の実績を 2.1 ポイント上回った。
○指標 32 「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合	向上させる	80.6%	82.6% [H27 年度実績 82.4%]	○	平成 28 年度実績は、計画策定時の実績を 2.0 ポイント上回った。
○指標 33 「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がいない」と回答した府立学校生の割合	減少させる	9.2%	7.2% [H27 年度実績 8.0%]	○	平成 28 年度実績は、計画策定時の実績より 2.0 ポイント改善した。

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績値 (計画策定時)	H28 年度実績値	点検結果
				

(注) 目標に対する平成 27 年度実績の進捗状況を記載。

【自己評価】

- ① 小・中・高一貫したキャリア教育を推進するとともに、地域と連携した体験活動や読書活動を充実し、粘り強くチャレンジする力をはぐくむ教育を充実します。
- 粘り強くチャレンジする力の育成については、小中学校9カ年のキャリア教育全体計画の策定を促進するなど、キャリア教育の充実を図ってきた。その成果として、「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合は計画策定時の実績を上回った。一方、「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合は計画策定時の実績を下回っており、今後とも、発達段階に応じたキャリア教育を一層推進していく。
 - 子どもの発達段階に応じた読書環境の充実を図るため、子どもの読書の重要性についての理解を促進するためのフォーラムの開催や、学校図書館の活性化や公立図書館における児童サービスの向上を促すことを目的とする「公立図書館と学校との合同研修」をはじめとした、各種研修を実施した。また、小・中学校における学校図書館の機能充実に向けては、担当指導主事会を通じて、市町村に対して優れた取組みを紹介するなどの支援を行った。「読書が好き」と回答した小6、中3の割合は、計画策定時に比べ増加しているものの、全国平均を依然下回っていることから、子どもが読みたいと思う本と出合う機会の拡大等を進めるとともに、市町村に対する読書活動推進の働きかけを進めていく。
- ② 歴史や芸術・文化・学術等に関する教育を推進し、郷土への誇りや伝統・文化を尊重する心をはぐくみます。
- 近現代史をはじめとした歴史等に関する教育については、全校を対象とした教育課程協議会において近現代史をはじめとした授業内容の周知を行うなど、事業目標に沿って進捗している。弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館を利用した小・中学生数は、平成28年度3万5百名となり、平成27年度から目標値3万名を維持した。子どもたちが歴史・文化等にふれる機会を拡大させるため、今後とも継続して出前授業による広報活動や、小・中学校の教員を対象とした研修の実施など
- 第1回審議会で審議済**
- ③ 民主主義をはじめとした社会のしくみについての教育を推進し、社会の一員として参画し貢献する意識や公共の精神を醸成します。
- 政治的教養を育む教育については、各府立学校の指導計画に基づき、高校生向け副教材「私たちが拓く日本の未来」の中の「知識・理解に関する内容」について1単位時間以上、「実践的な学習活動に関する内容」について4単位時間以上、計5単位時間以上の指導を実施した。今後も、政治的教養を育む教育の充実に向け、教員研修を通じて好事例の共有を図っていく。
 - 小・中学校等においては、社会科の学習や「夢や志をはぐくむ教育」の活用を通じて進めているところであり、引き続き取り組んでいく。
 - 「志（こころざし）学」（高校）を実施するとともに、民主主義など社会の仕組みに関する授業の実践を府立高校へ周知した。今後とも、教育センター研究フォーラムにおける実践的な授業の報告の実施などを通じてその充実に努めていく。

④ 社会のルールを守り、違いを認め合い人を思いやる豊かな人間性をはぐくむ人権教育・道徳教育を推進します。

- ・小・中学校については、人権教育研修を実施するとともに、家庭・地域と連携した道徳教育をより一層推進してきた。これらの成果として、「自分には良いところがある」「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の割合が、計画策定時の実績を上回った。
- ・府立高校においては、人権教育研修など各種会議を開催し、その成果を取りまとめるとともに、各学校で作成した道徳教育の全体計画に基づき道徳教育を推進した。これらの成果として、「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」、「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合はいずれも向上し、「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がいない」と回答した府立学校生の割合も計画策定時の実績より、改善している。今後も教育活動全体を通じて一人ひとりの人権が大切にされる学校づくりに取り組んでいく。

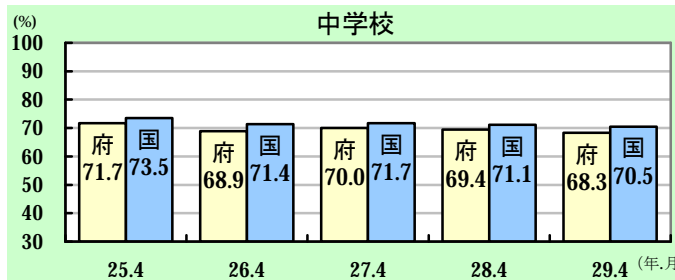
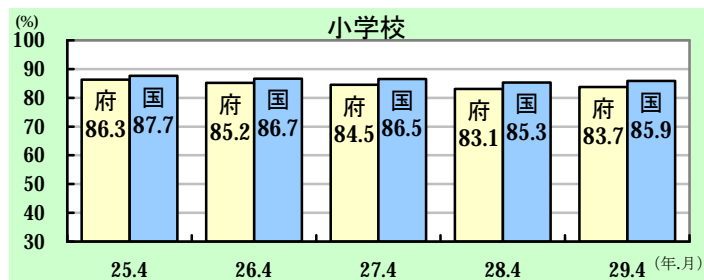
第1回審議会で審議済

【評価審議会における審議結果】

○

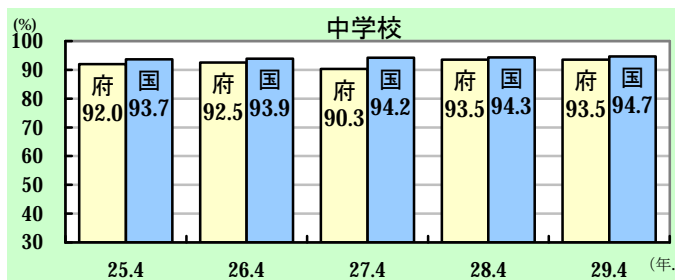
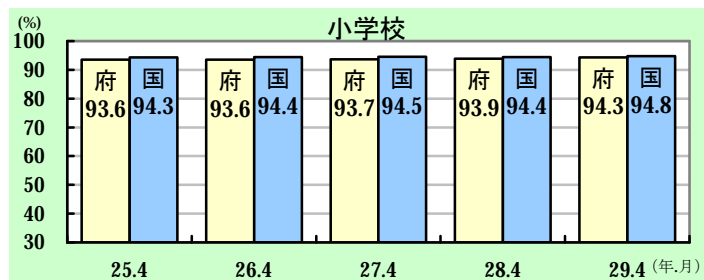
(参考)

◆指標 24 「将来の夢や目標を持っている」児童・生徒の割合



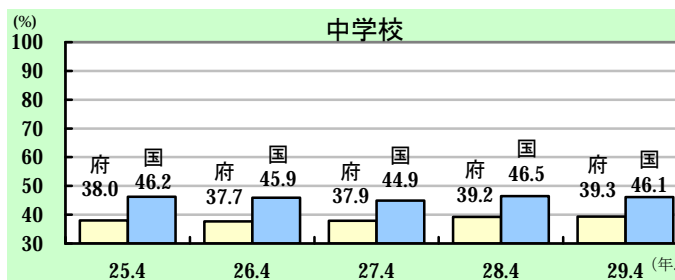
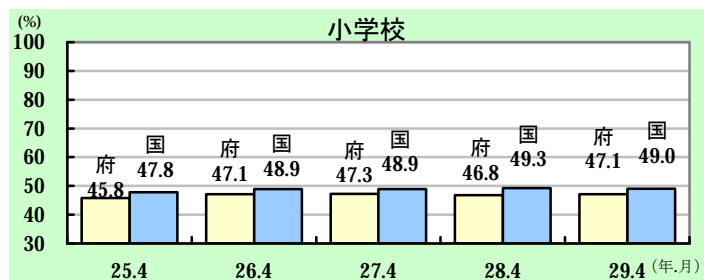
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 25 「ものごとを最後までやりとげたことがある」児童・生徒の割合



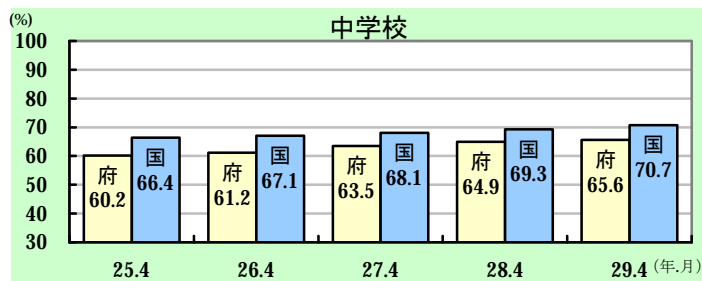
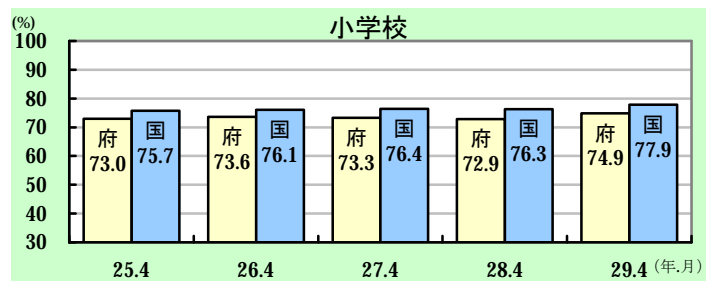
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 26 「読書が好き」な児童・生徒の割合



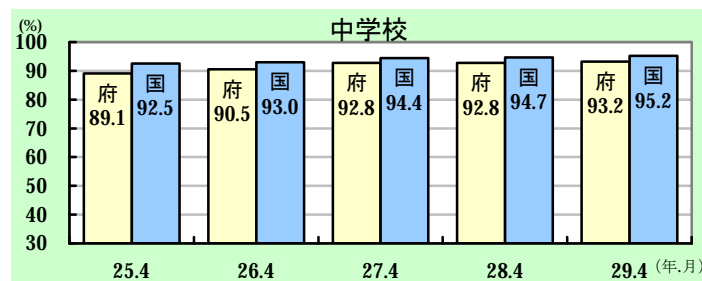
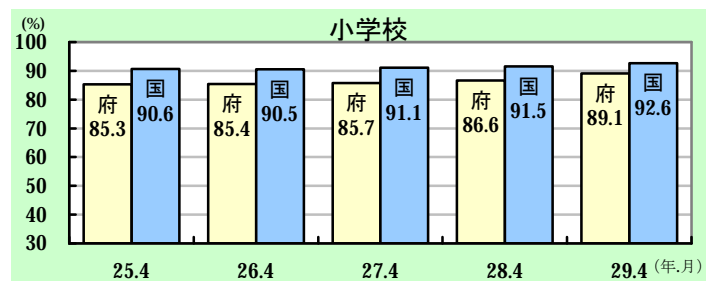
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 27 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合



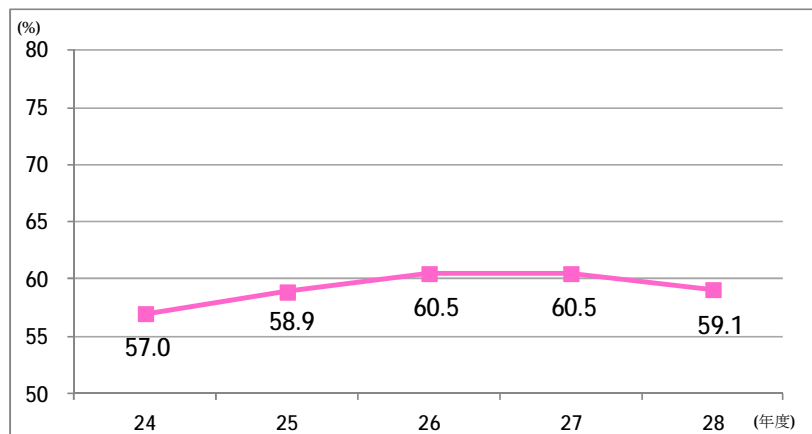
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 29 「学校のきまりを守っている」児童・生徒の割合



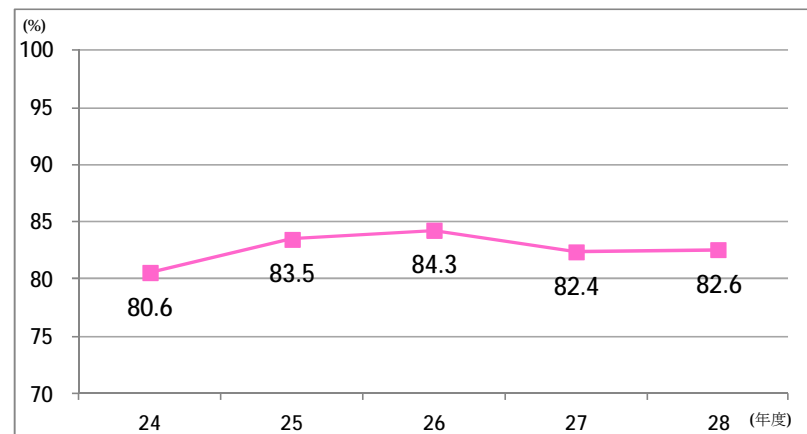
※文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 31 「高校・高等部での学習を通して『自分を大切にする』気持ちが高まった」と回答した府立学校生の割合



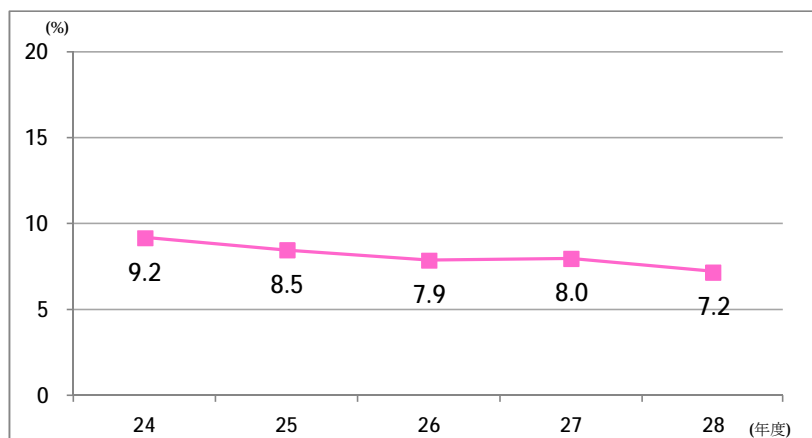
※府教育庁調べ

◆指標 32 「高校・高等部での学習を通して『人間関係』の大切さを学んだ」と回答した府立学校生の割合



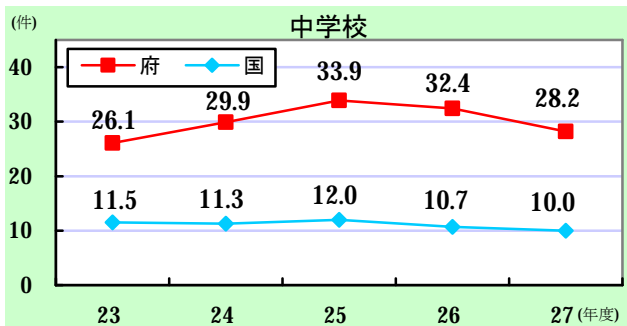
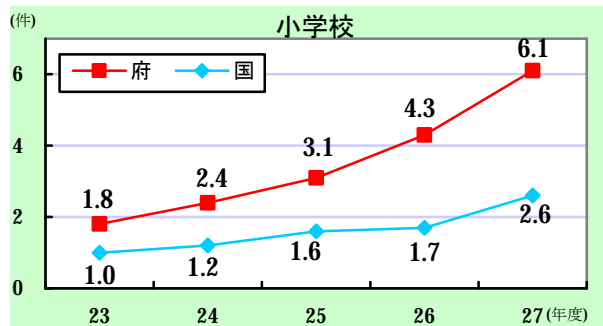
※府教育庁調べ

◆指標 33 「悩みや心配ごとがあるとき、相談する相手がいない」と回答した府立学校生の割合



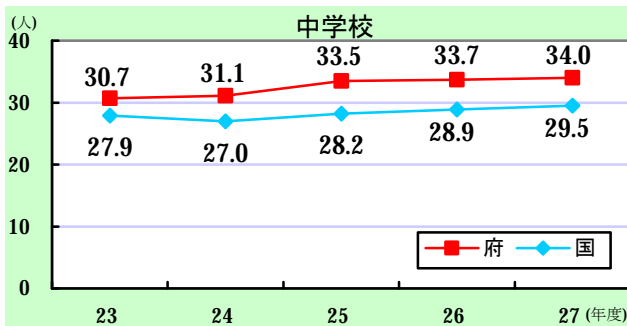
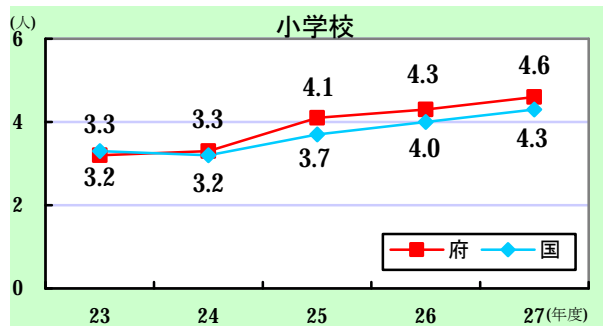
※府教育庁調べ

◆指標 34 暴力行為の発生件数の千人率



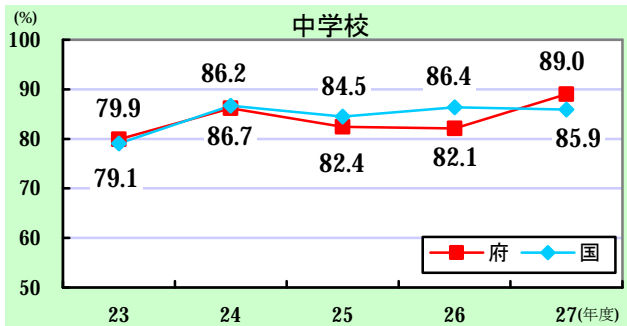
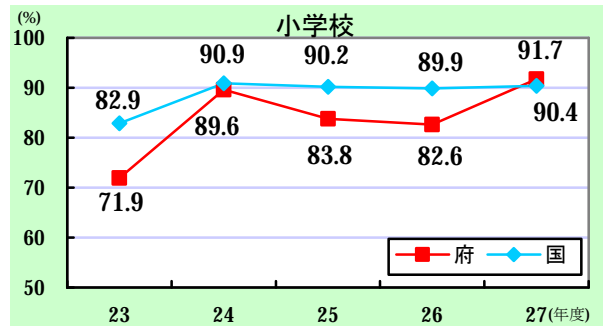
※文部科学省
「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

◆指標 35 不登校児童・生徒数の千人率



※文部科学省
「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

◆指標 36 いじめの解消率



※文部科学省
「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」